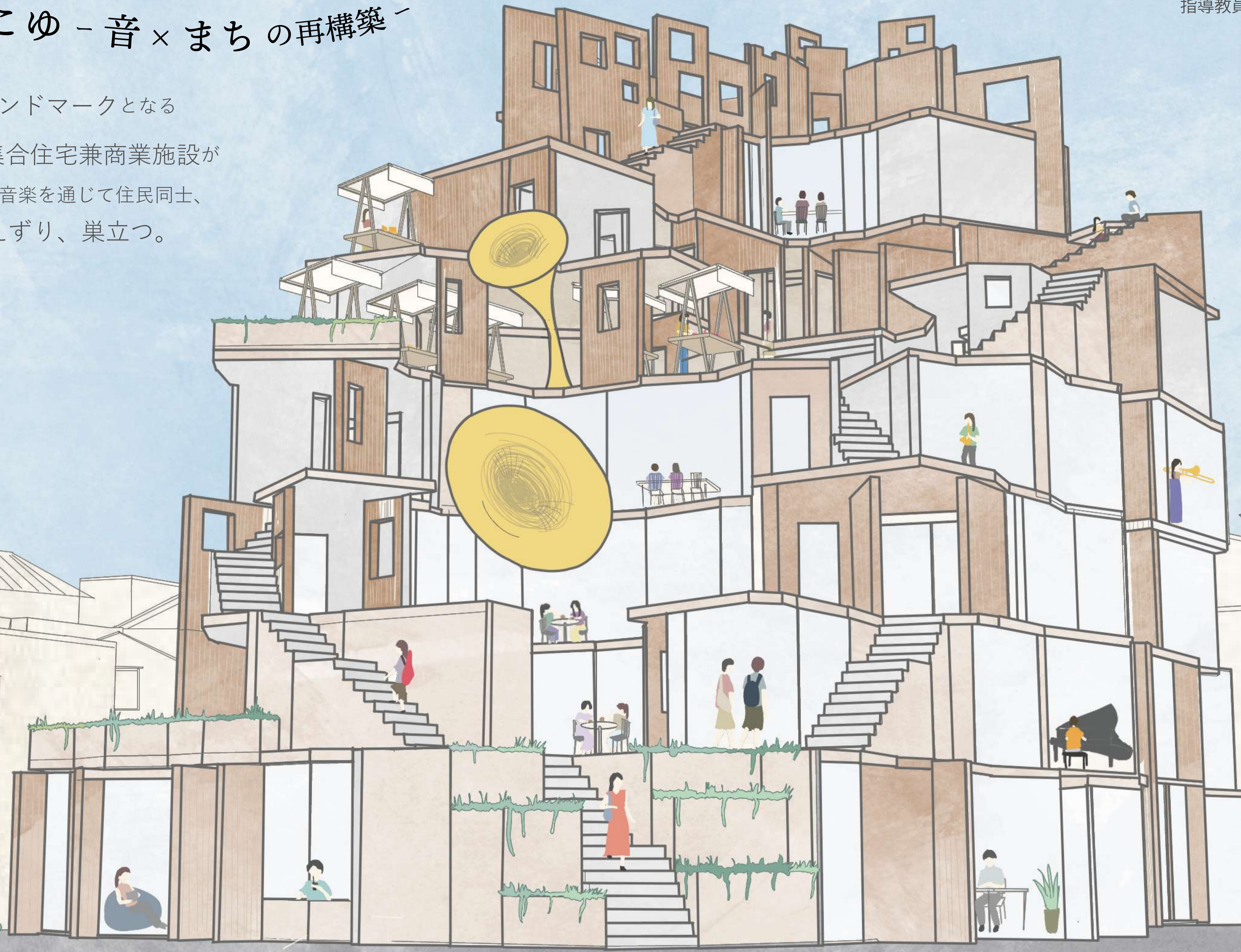


# さえずり，聴こゆ - 音×まちの再構築 -

商店街に新たなランド・サウンドマークとなる

「on(=音)NEST(=巢)」という集合住宅兼商業施設が生まれる。ここで暮らす住民は、音楽を通じて住民同士、地域との交流を深めながら、さえずり、巣立つ。



■ 建築概要

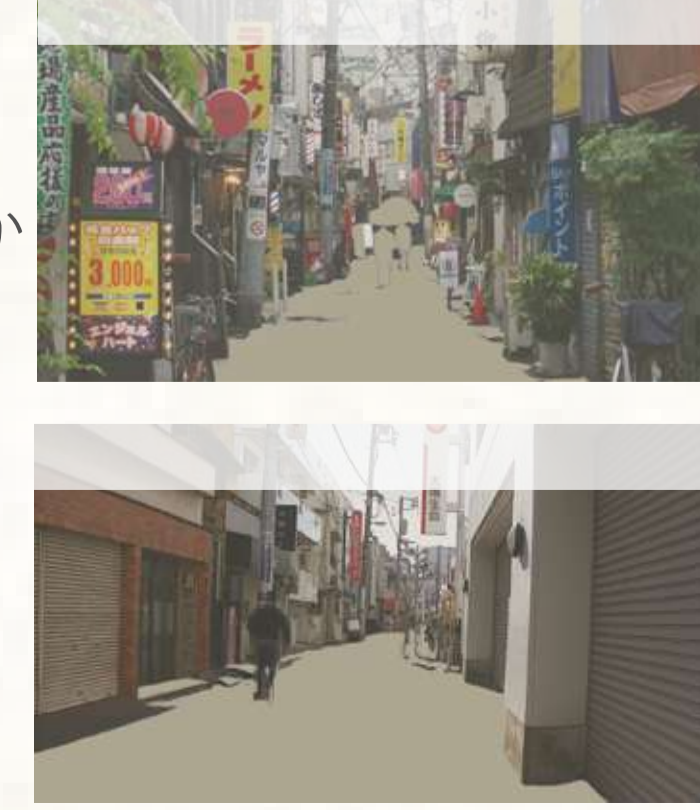
所在地	: 東京都千住仲町
用途地域	: 近隣商業地域
主要用途	: 集合住宅、商業施設
収容人数	: 15人 (15戸)
階数	: 8階
構造	: 鉄筋コンクリート造
敷地面積	: 558.3m <sup>2</sup>
延べ床面積	: 157.2m <sup>2</sup>
建築面積	: 36.2m <sup>2</sup>
建蔽率	: 65% (許容 80%)
容積率	: 281.6% (許容 300%)

## 01. Background - 廃れていくミリオン通り商店街 -

東京都足立区千住中町は、駅ビルの再開発により、利便性の高さや昭和の情景残る街並みが人気のエリアとなっている。しかし一方で、かつて千住の特徴でもあった数々の商店街が衰退の一途を辿っている。

2006年、ミリオン通りに転機が訪れる。ミリオン通り入口に、東京藝術大学のキャンパスが引っ越してきたのである。以来、「音まち」として地域活性化が図られているが、現状大きな変化はない。

ルミオン通り商店街の今



## 02. Concept - 音で構築され、音を構築するまち -

千住のまちに降り立つと音が遠くから聞こえる、なにやら演奏などを行っており楽しそうだ。その音のする方向に進んでいくと、「音まち、ミリオン通り」にたどり着く。

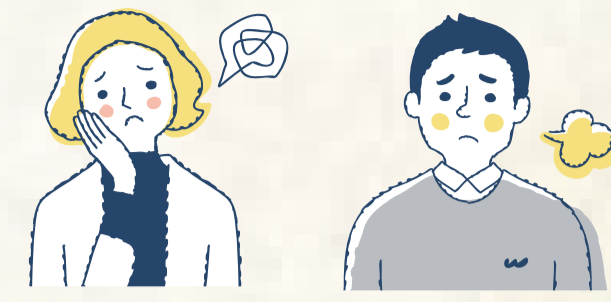
音楽好きの学生・サラリーマンが集い、音楽を楽しみながら情報交換をし関心を高め合い、小鳥がさえずりのように演奏をして巣立っていく。活気と音がまちに溢れ、地域の人々と互いに受け入れ、交流を深めていく。





### 03. Music ー音 × まちの関係、音楽によるコミュニティ・スペシフィックー

音はある人にとっては癒しとなり、ある人にとっては騒音となる。このことから、まちで音が聞こえるという事は非常にシビアな問題である。



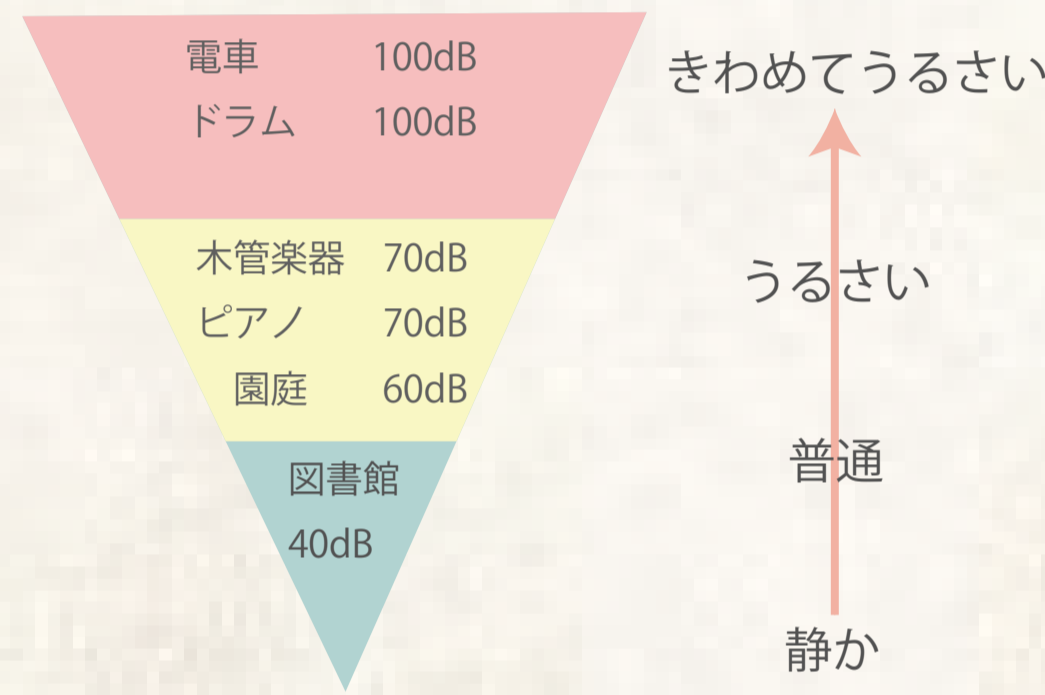
しかし、本来であれば騒音の原因となる活動は、**本来は楽しい活動**である。騒音が懸念されることから制限されてしまう。「音まち」を掲げるこの土地であるからこそ、**音を許容する寛大な建築が受け入れられるのではないだろうか**。音楽という媒体を通して地域の人々、外部から訪れる人々、onNESTの住民たちのコミュニティ・スペシフィックが行われる。

点音源の予測式  
 $SPLr = SPL0 - 20 \log(r/r0)$

SPLr: 予測地点での騒音レベル (dB)    r: 予測地点までの距離 (m)  
 SPL0: 基準距離での騒音レベル (dB)    r0: 基準距離 (m) - 通常 1m

onNESTからの点音源を70dBまでに抑制  
 ↓  
 ミリオン通りには60dBほどで聴こえる  
 ↓  
 まちに対して30~40dBで聴こえる

各種音量レベルと音に対する感じ方



### 04. City ーまちの中の公共音空間ー

ミリオン通り商店街の魅力が**サウンドマーク**として音を通して発信されていく。onNESTの積まれた造形がまち中の塔となり、**ランドマーク**となる。

ミリオン通りは幅広い世代層が混在している。音まちならびにonNESTが多くの人々に受け入れられるには、騒音問題に関して着目しなければならない。



- ①騒音を出さないよう制御する。
- ②騒音に対する代償をする。
- ③騒音と感ぜさせないようにする。

騒音問題に対する3つのアプローチ

- ①' RC造とし、部材により防音性能を高める。
- ②' 集合住宅住民による地域の人々に向けた音楽教室を開く。
- ③' 「音源が親しい人であるほど騒音と感ぜにくい」という研究を踏まえ、交流し、親しくなることで受け入れてもらう。

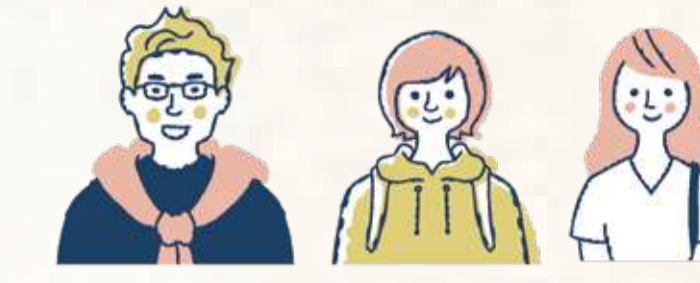


### 05. Program ー再構築されていく音とまちの関係ー

音を出している人とその音聞く人が親しい間柄であるほど、音に対して「うるさい」と感じなくなるという研究結果が存在する。この建物は地域のコミュニティを強め、若者の活気を商店街

音楽好きの近隣大学の大学生、サラリーマンが音楽のコミュニティを求めて集まる。

take



give

地域の人々に対し、住民の大学生によるレッスンの提供。音楽を通じたコミュニケーションを行う。



音 × まち



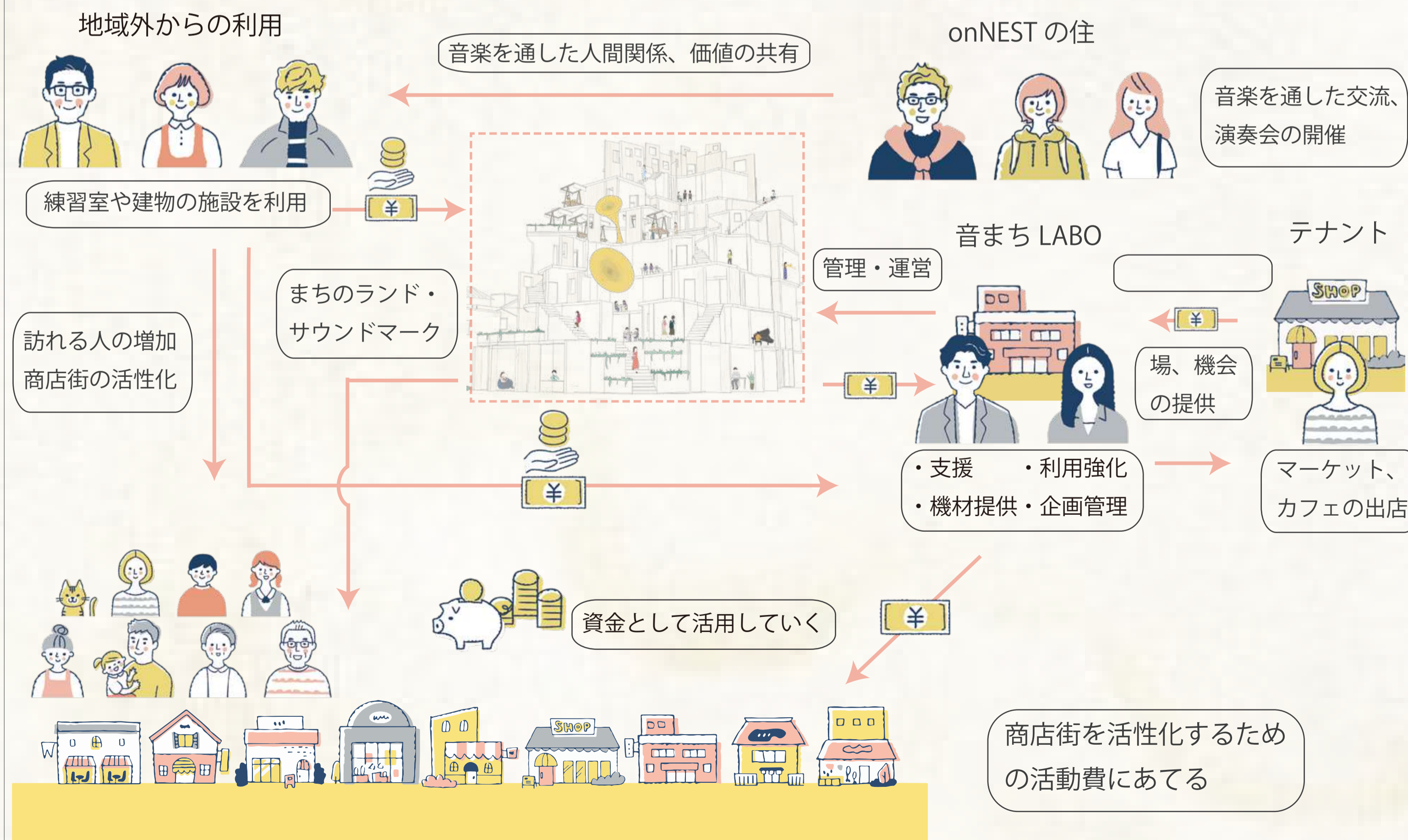
地域全体に活気があふれる。魅力的な音まちが形成されていく。



建物を利用することで、地域の人々の交流が深まる。

### 06. Scheme ー音楽好きたちと人とまちが誘い合う経済循環ー

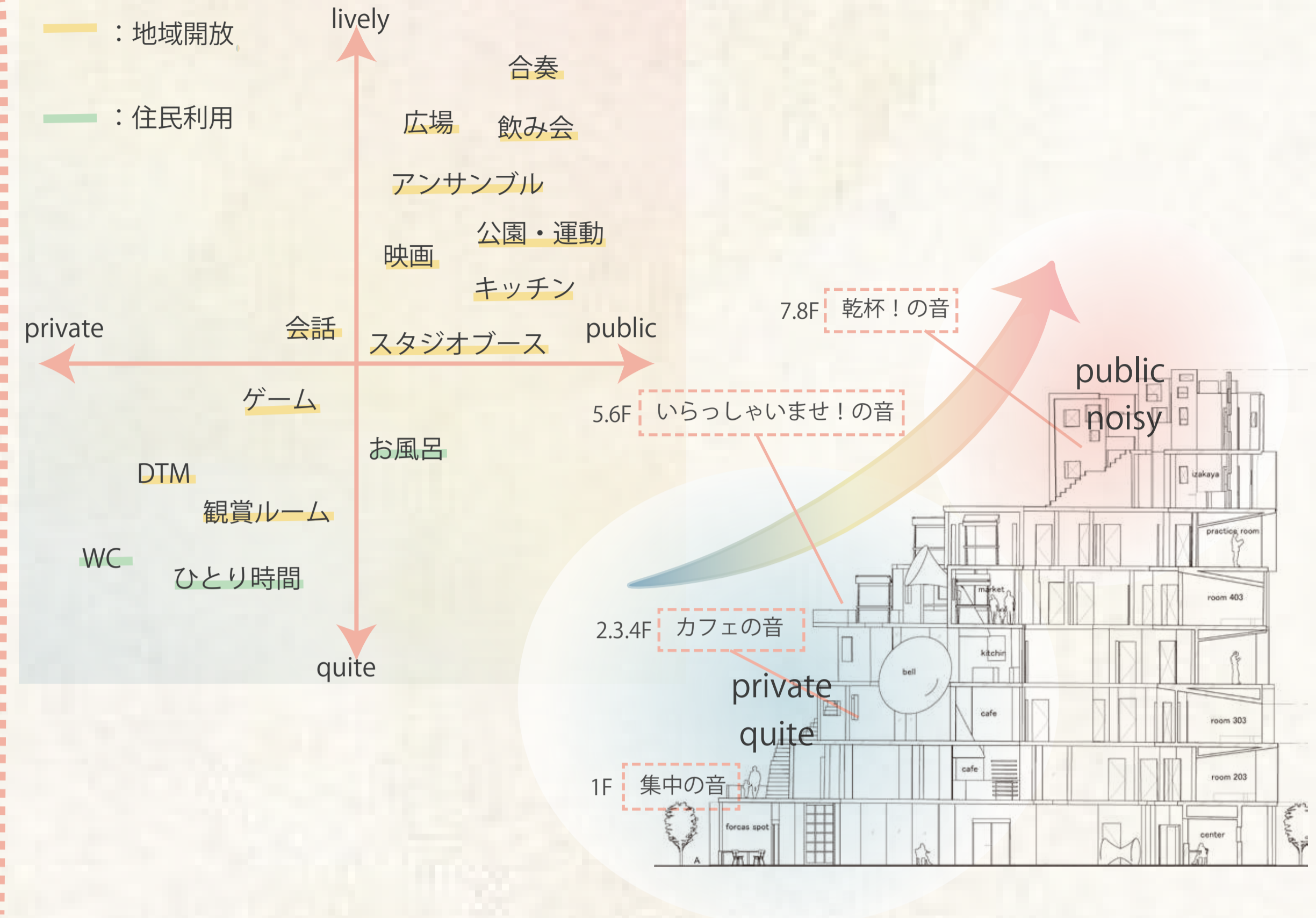
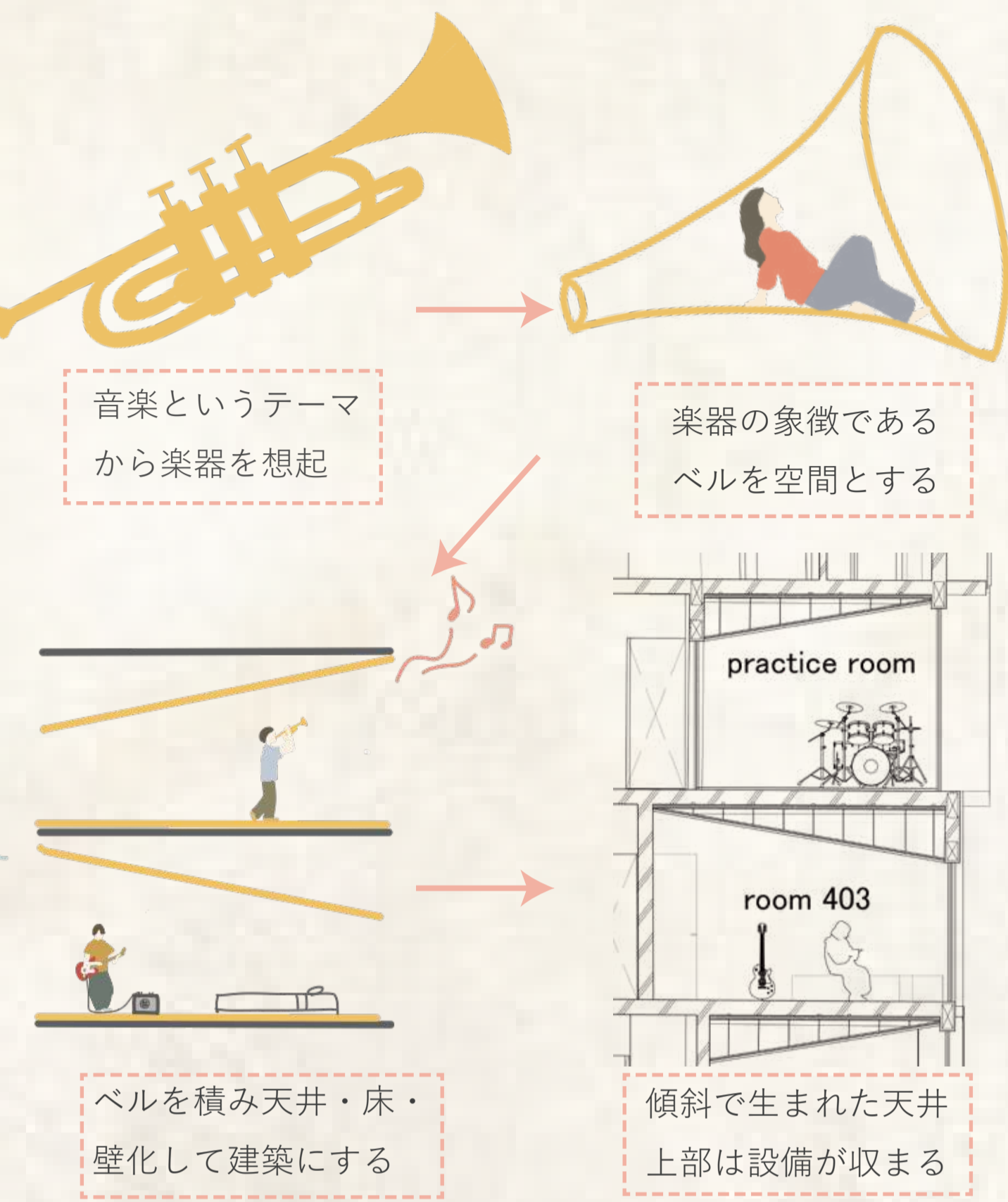
音楽を通じた交流と価値の共有を促す onNESTを中心とした経済循環と、音まちLABOによる運営





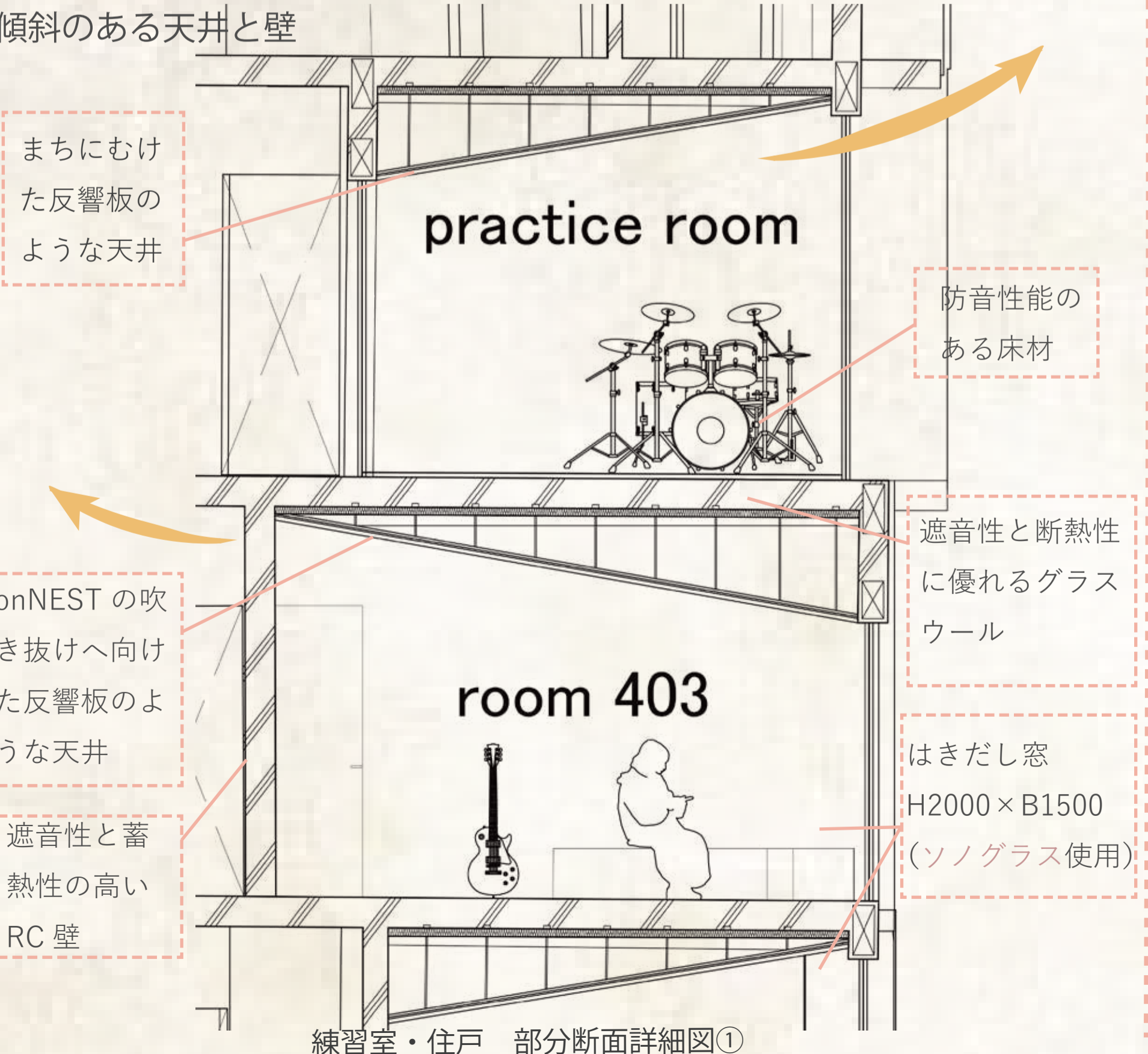
# 07. Diagram ー建築の形態操作と空間構成ー

人々の活動から発生する音と活動には、相関関係がある。より公共的な活動ほど大きな音が発生し、一人の活動ほど静かである。これを建築に落とし込む。各階で音のテーマが変化し、上階ほど活発で賑やかな変化のある建築となる。

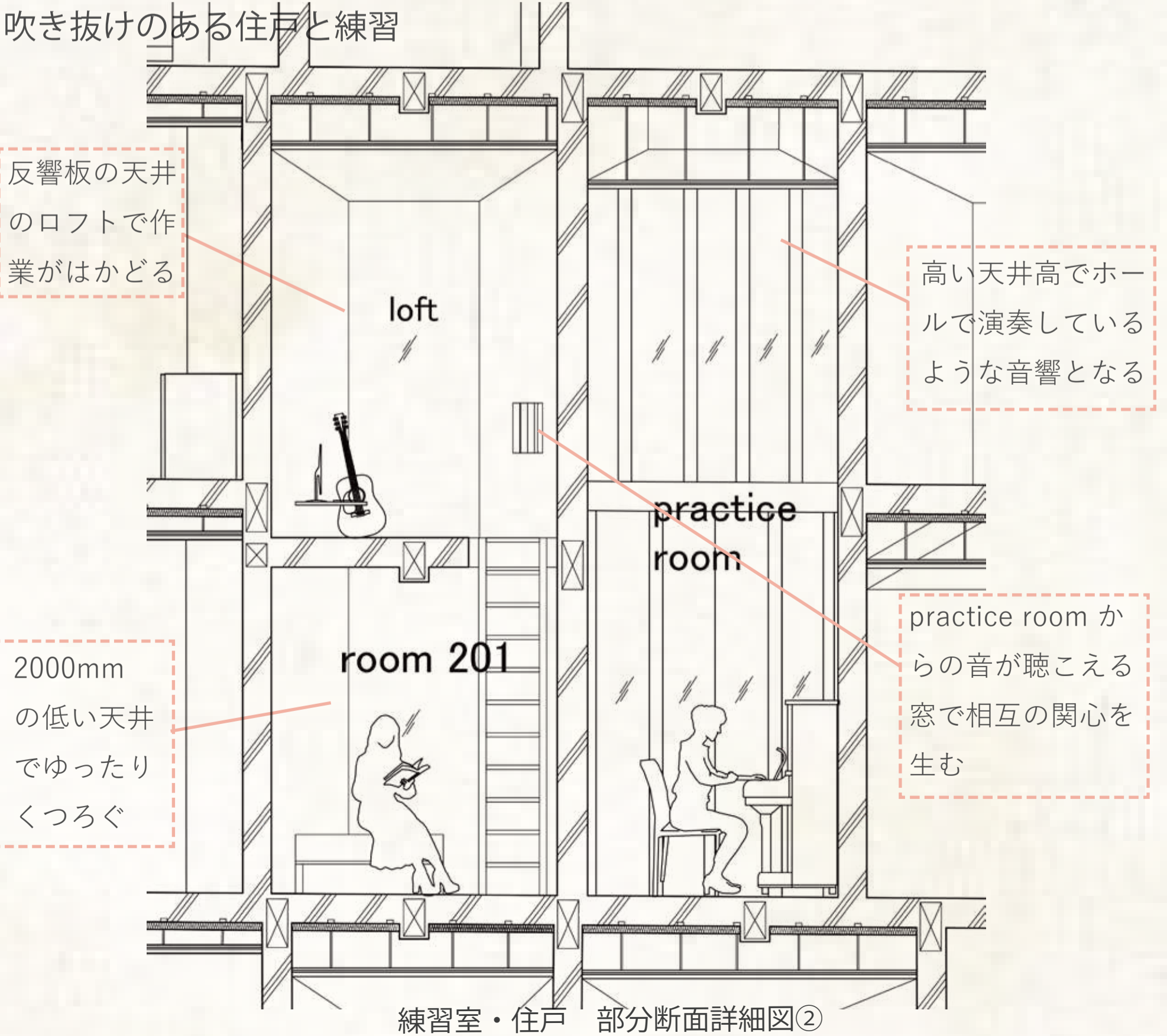


# 08. Design ー音楽活動に寄り添う空間ー

遮音性、防音性能の高い材を用いて外部に漏れ出る音は70dBまでに抑える。天井と壁が不規則に傾いている為、音が分散され、音響において優れた空間となる。



住戸と練習室は、その住民や利用者に応じた様々な形態がある。ロフトは作業室として使用したり、より良い音響を求めて高い天井の部屋、木管ならば直射日光の入りにくい部屋などを選ぶ。



# 09. onNEST 祭

ーまちと onNEST 住民が音楽でつながり、発信していく祭りー

祭りが行われる日は、演奏が千住のまちに響き渡り、遠くからでも演奏がかすかに聴こえる。千住を訪れた人々が「あの音は何だろう?」と onNEST と音まちの存在を知るきっかけとなる。

onNEST 祭を楽しむ人々



ギターの演奏をお披露目するために毎日 onNEST で練習する地域の人



出店の美味しい食べ物を目当てに訪れる人々



演奏を聴きに訪れる人々



日々のレッスンのお披露目をする地域の子どもと女性と onNEST 住民で結成された団体

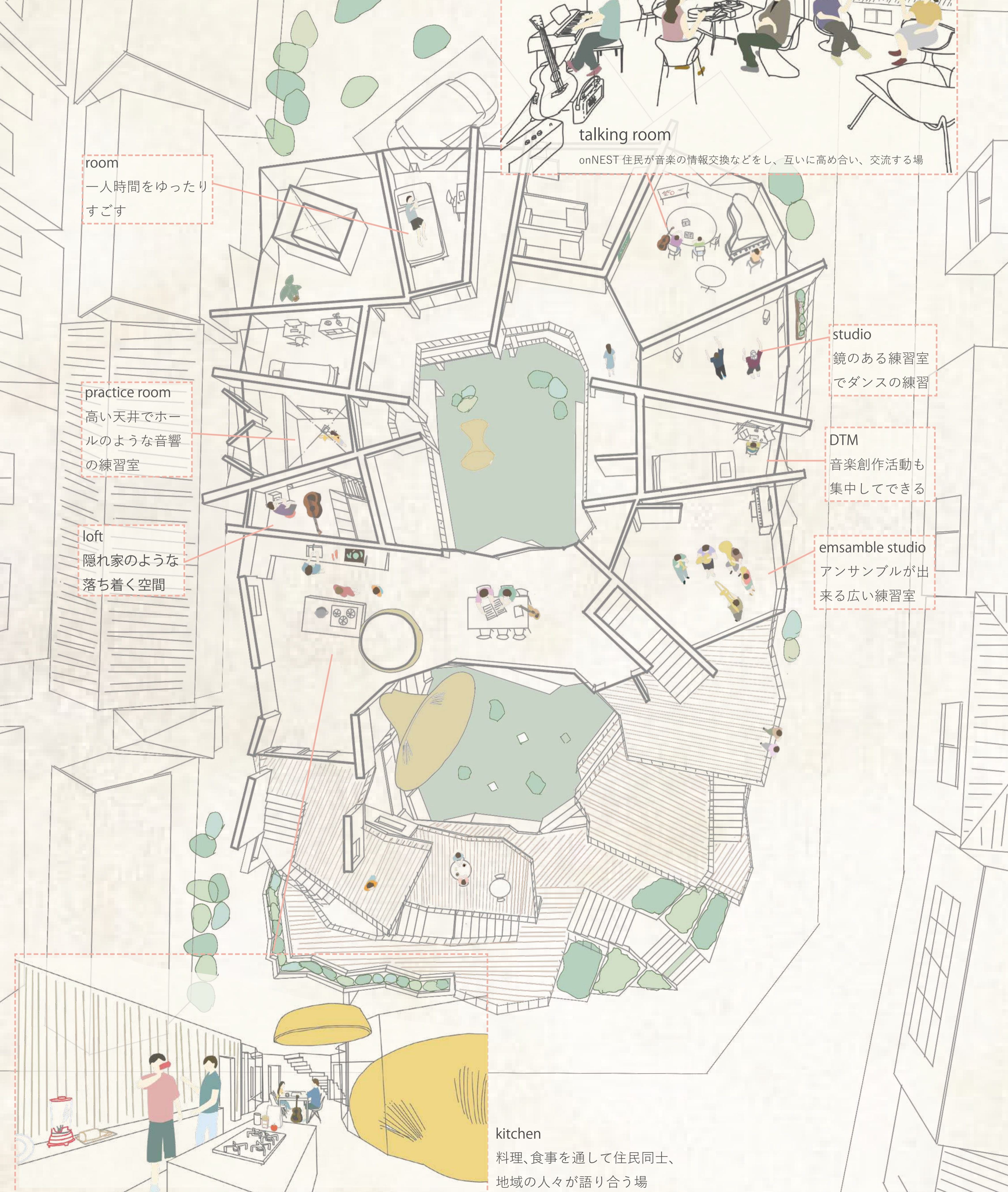
シーズンごとに行われる onNEST 祭は、まちと onNEST 住民の音楽によるコミュニティ・スペシフィックを体現するものである。祭りは建物全体で行われ、出店や吹き抜けを利用した演奏のお披露目が行われる。演奏は、onNEST 住民と日々レッスンを受けている地域住民などの有志が集まって行く。





# 10. Plane perspective

—多様な活動と音が溢れる空間—



**room**  
一人時間をゆったり過ごす

**practice room**  
高い天井でホールのような音響の練習室

**loft**  
隠れ家のような落ち着く空間

**talking room**  
onNEST 住民が音楽の情報交換などをし、互いに高め合い、交流する場

**studio**  
鏡のある練習室でダンスの練習

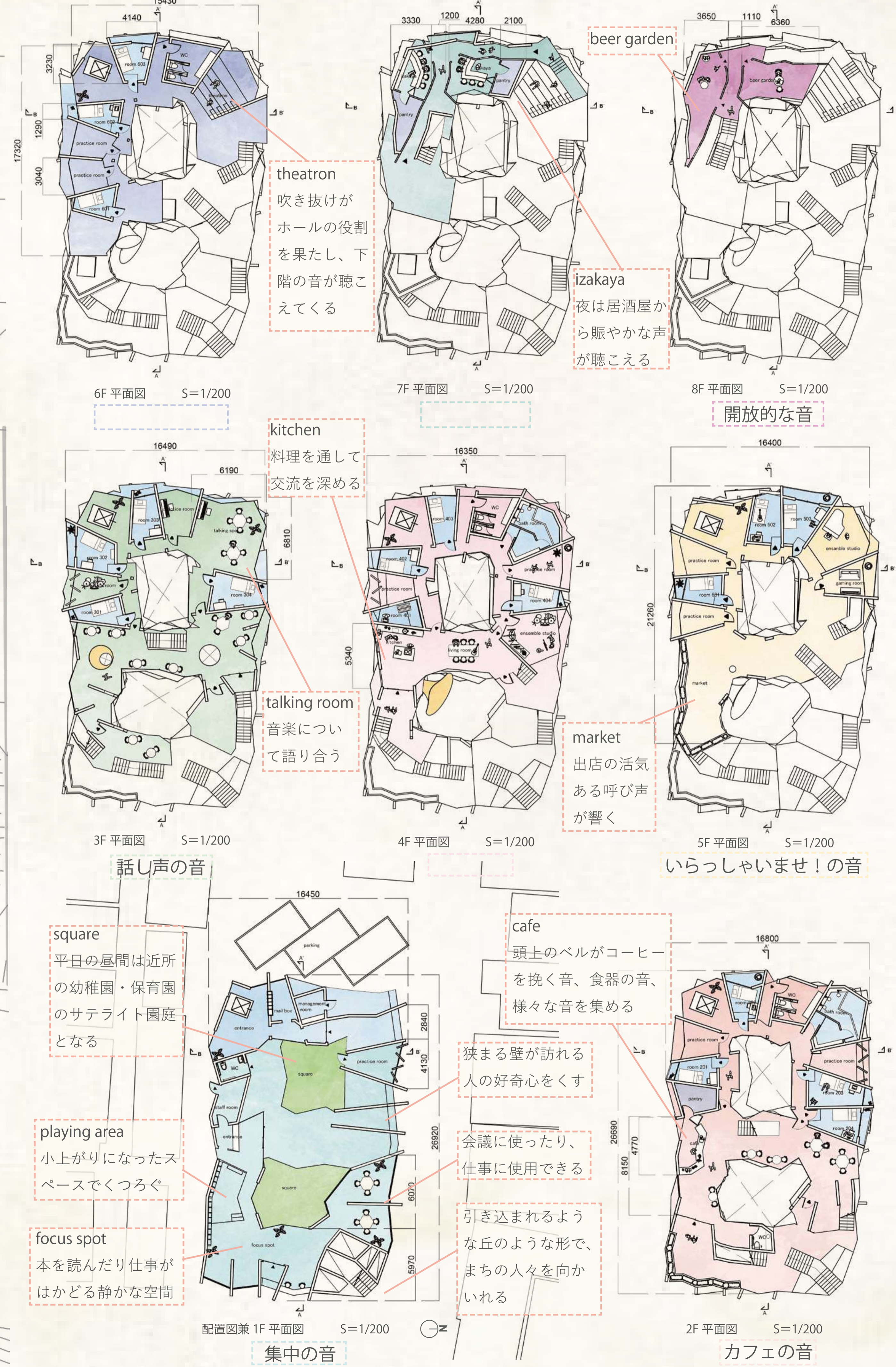
**DTM**  
音楽創作活動も集中してできる

**ensemble studio**  
アンサンブルが出来る広い練習室

**kitchen**  
料理、食事を通して住民同士、地域の人々が語り合う場

# 11. Plane

—階ごとに多様な音が聴こえてくる建物—



**theatron**  
吹き抜けがホールの役割を果たし、下階の音が聴こえてくる

**beer garden**  
**izakaya**  
夜は居酒屋から賑やかな声が聴こえる

**kitchen**  
料理を通して交流を深める

**talking room**  
音楽について語り合う

**market**  
出店の活気ある呼び声が響く

話し声の音

**square**  
平日の昼間は近所の幼稚園・保育園のサテライト園庭となる

**cafe**  
頭上のベルがコーヒーを挽く音、食器の音、様々な音を集める

**playing area**  
小上がりになったスペースでくつろぐ

狭まる壁が訪れる人の好奇心をくす  
会議に使ったり、仕事に使用できる

**focus spot**  
本を読んだり仕事はかどる静かな空間

引き込まれるような丘のような形で、まちの人々を向かせる

配置図兼 1F 平面図 S=1/200

集中の音

いらっしやいませ!の音

2F 平面図 S=1/200

カフェの音

開放的な音



# 12. Cross section

一反響板で構成される造形—

吹き抜けを通して住戸の壁が反響板となりまちに届く



beer garden  
開放的な空間で楽しい音と光が漏れだす

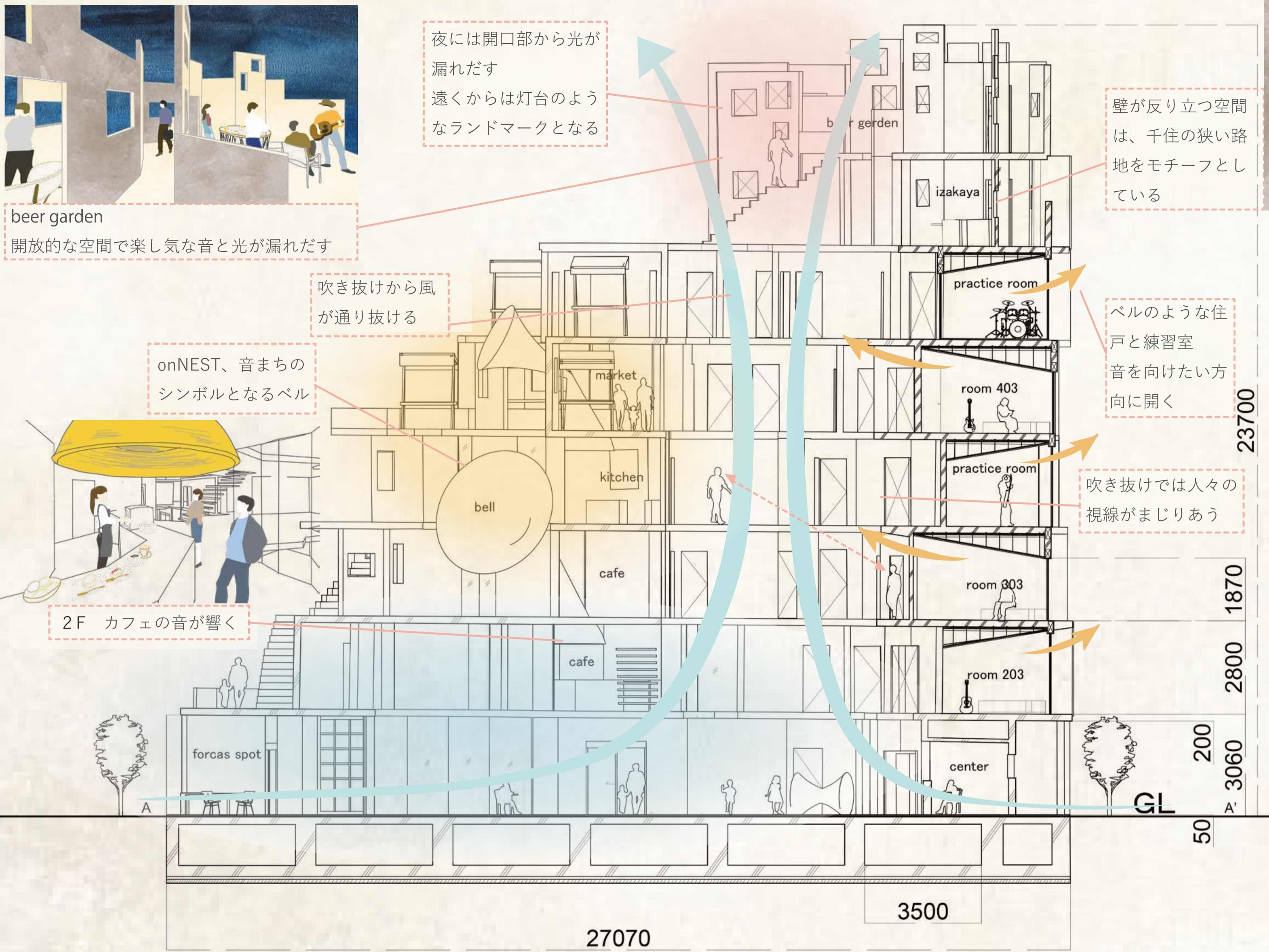
夜には開口部から光が漏れだす  
遠くからは灯台のようなランドマークとなる

吹き抜けから風が通り抜ける

onNEST、音まちのシンボルとなるベル



2F カフェの音が響く



A-A' 断面図 S=1/80

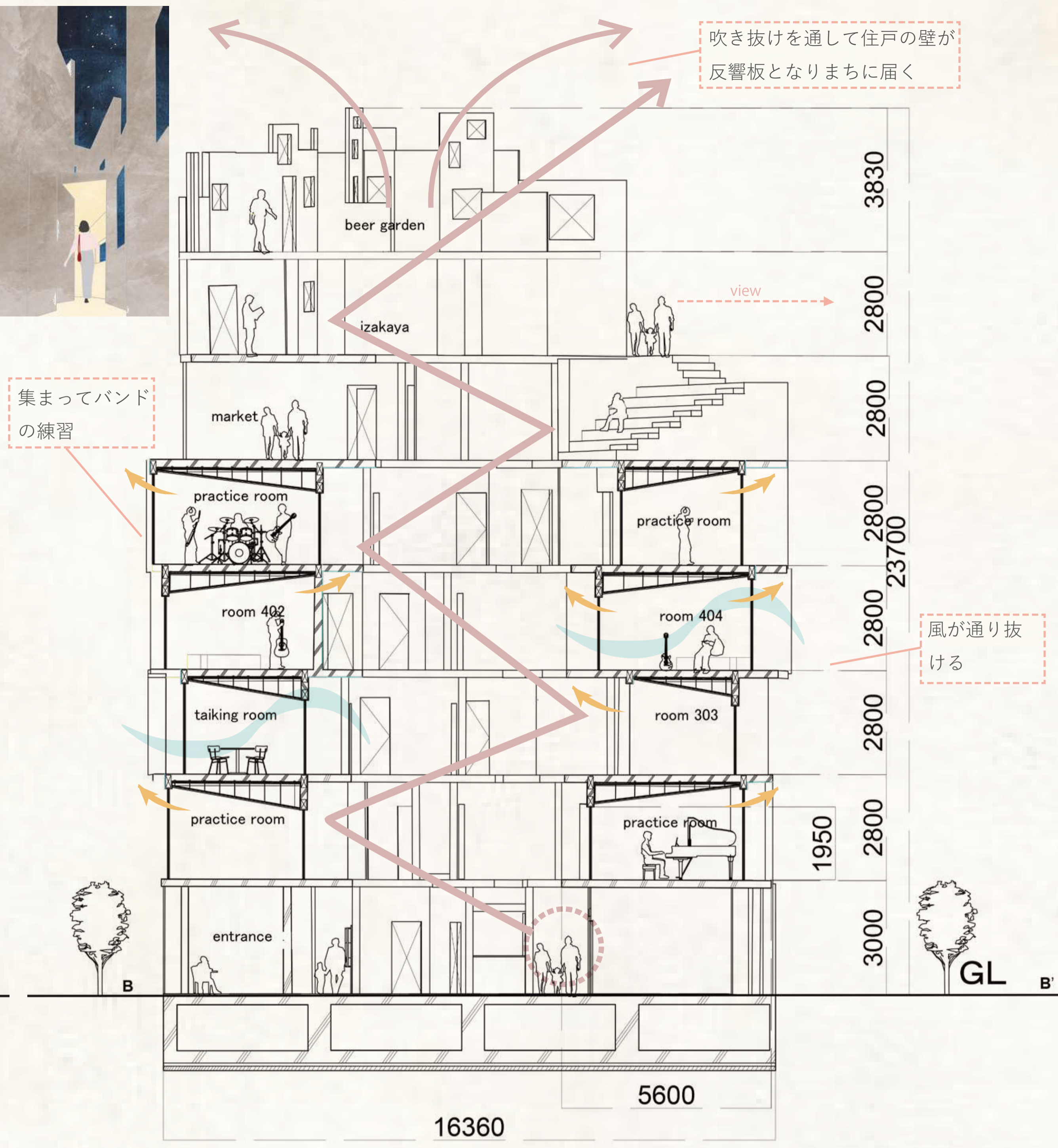


壁が反り立つ空間は、千住の狭い路地をモチーフとしている

ベルのような住戸と練習室音を向きたい方向に開く

吹き抜けでは人々の視線がまじりあう

集まってバンドの練習



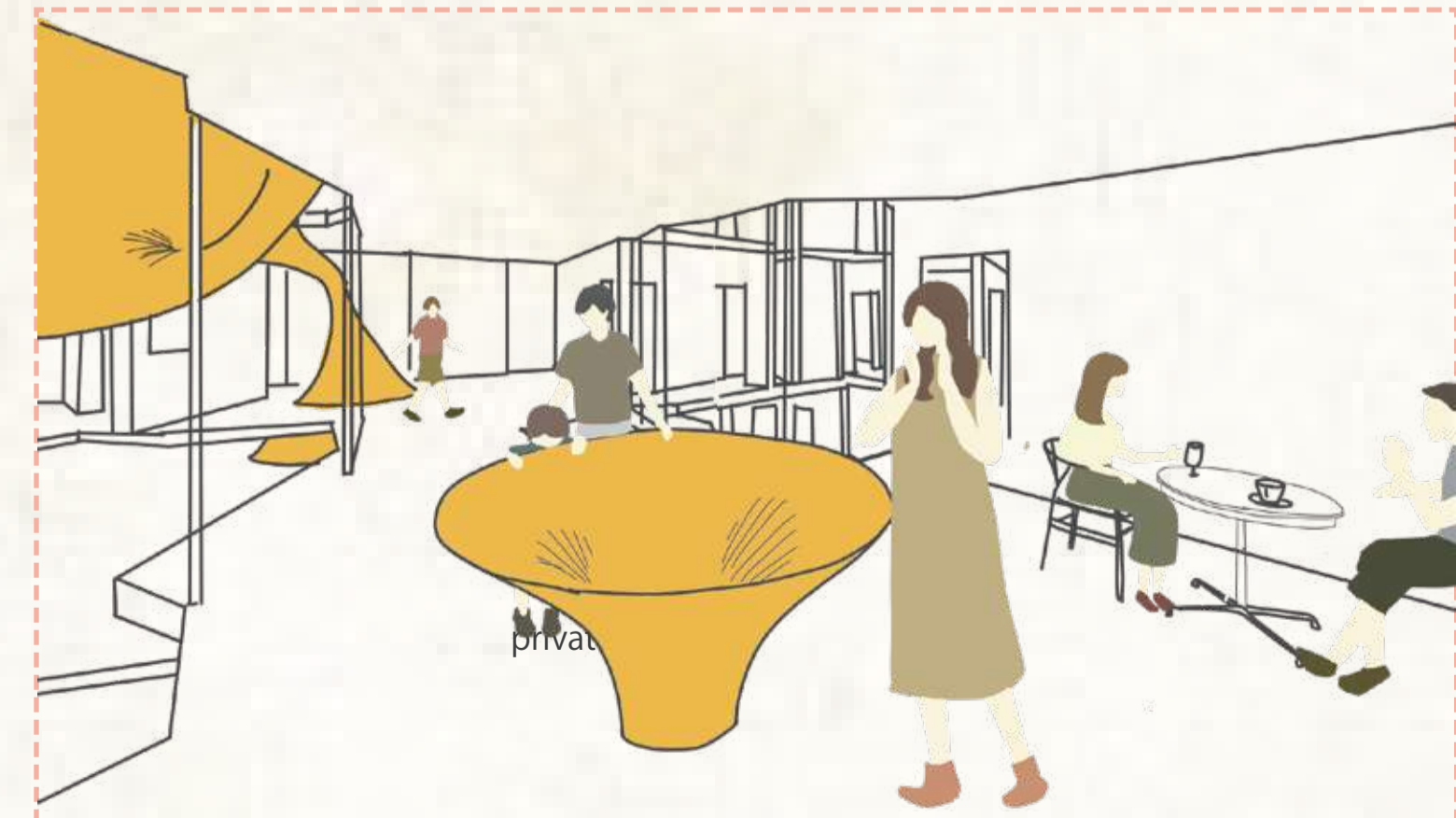
B-B' 断面図 S=1/80

風が通り抜ける



1F focus spot

くつろげる空間で静かなひと時を過ごすことができる。読書や仕事はかどる。



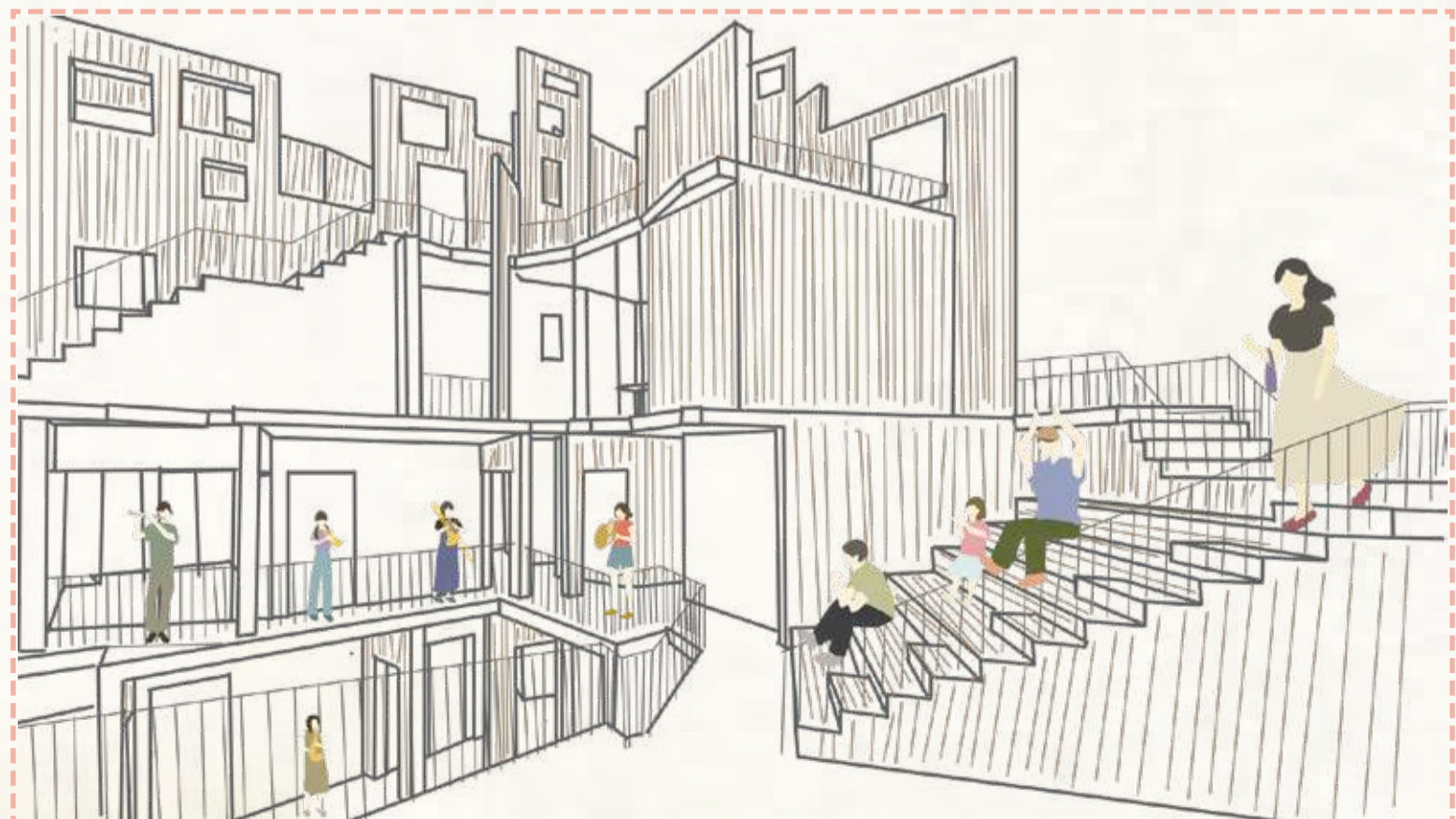
4F cafe

ベルからは下の声が聴こえたり、こちらの声が反射したりする。音の様々な体験、色々なベルの形が人々に日常的に「音」を意識させることにつながる。



5F market

野菜や手作りアクセサリなど、地域の地域の人々が有志で出店することができる。ルミオン商店街の活気や魅力が伝わる場となる。



6F theatron

onNEST 祭では住民や地域の有志の人々が演奏を行う。吹き抜けを介した住戸の壁が反響板の役割を果たす。